

第3回

「福岡市市民公益活動推進審議会」

会議次第

日時：平成18年8月2日(水) 午後2時～午後4時

場所：福岡市役所 15階 第4特別会議室

- 1 開会
- 2 新委員の紹介
- 3 審議等
 - (1)「市民公益活動応援ガイド」の活用状況 (資料1)
 - (2)福岡市の自治協議会設立等の状況等 (資料2)
 - (3)福岡市NPO活動支援基金・助成状況等 (資料3)
 - (4)福岡市の共働取り組み状況 (資料4)
 - (5)その他
- 4 閉会

「福岡市市民公益活動推進審議会」委員名簿

平成18年8月1日現在

氏名	所属等	分野
池浦 順子	和白東ボランティア「おあしす」	地域活動実践者
稲舛 積	特定非営利活動法人NPO博多まちづくり	NPO・ボランティア関係者
遠藤 文彦	福岡市7区区長会	行政
北嶋 雄二郎	福岡市市民局	行政
熊谷 節子	福岡市立小学校長会	行政
信友 浩一	九州大学大学院医療システム学	学識経験者
原田 陽次	福岡市自治協議会等7区会長会	地域関係者
宮本 俊二	九州電力株式会社	企業関係者
森田 昌嗣	九州大学大学院芸術工学研究院	学識経験者
吉田 順子	特定非営利活動法人環境みらい塾	NPO・ボランティア関係者

(五十音順・敬称略)

「市民公益活動応援ガイド」の活用状況

1. 配付状況

配布先	ガイドセット	PRパンフレット	備考
自治組織、公民館	1300	6700	区地域支援課配付
情報プラザ、区市民相談室	1000	4500	市民希望者用
市民センター等施設	330	6000	
各区社会福祉協議会	400	550	校区社協
市立幼稚園、小中高	250	250	校長・園長連絡会
都市圏大学（19大学）	210	350	市・大学定期交流会
アクティブシニアボランティア	110	110	
委員、掲載団体、市議会等	500	400	
あすみん (福岡市 NPO・ボランティア交流センター)	1000	10000	
その他	460	15070	
合計	5560	43930	
制作総数	6000	60000	
残数	440	16180	

※ 自治組織：各自治協議会に2部、各自治会・町内会にPRパンフ2部、
公民館に閲覧用2部を配付

※ 市施設：市民センター、アミカス、人権センター、青年センター、図書館
で閲覧可能、施設利用団体に配付

※ あすみん：登録団体に送付、希望者に配付、関係講座・セミナーで配付

2. 啓発広報

- (1) 市長記者会見 4/11：時事通信(4/11)、毎日、読売、西日本新聞に記事掲載
- (2) 市政だより4月1日号に掲載
- (3) 市広報番組：TVQ「レッツラブふくおか」(5/12 放映)
- (4) 「各区公民館館長・主事連絡会」で、応援ガイドの説明と活用の依頼(8回)
- (5) 「各区社会福祉協議会次長会」で、校区社協に配付と地域で活用の依頼(4/7)
- (6) 「7区子どもアドバイザー定例会議」で、説明と活用の依頼(4/20)
- (7) 「市立学校長・園長連絡会」で、説明と応援ガイドの配付(6/27)
- (8) 「都市圏内大学交流幹事会・学長会」で、応援ガイドの配付(5/16・6/14)と
19大学との情報ネットワーク
- (9) 「アクティブシニアボランティア(99名)」に応援ガイドの配付と出前講座の案内
- (10) 「あすみん」のボランティア入門講座、NPO 法人化検討セミナー、NPO と
地域社会セミナーでテキストとして活用

3. 今後の予定

(1) 出前講座等による啓発

公民館や企業・事業所に出向いて、応援ガイドをもとに市民公益活動参加のPRを行います。

(2) 相談事業

「あすみん」や市庁舎において、随時、相談を受け付けます。相談・対応内容を庁内に周知し、職員の意識高揚を図ります。

(3) 市民公益活動に関する調査

市民意識調査、庁内共働調査などを行い、調査結果をもとに、今後の施策を検討します。

(4) 活動事例の取材

随時、活動情報を収集し、必要に応じて取材を行い、情報提供します。

自治協議会設立等の状況

H18. 5. 1現在

1 設立数	校 区 数	147
	自治協設立数	139
	設 立 割 合	94.6%
2 構成団体数	1 自治協議会当たり自治会数	14.9
	1 自治協議会当たり加入自治会数	14.8
	加 入 率	99.3%
	1 自治協議会当たり自治会以外の団体数	17.9
	1 協議会当たりの総構成団体数	32.7
3 役員数	1 自治協議会当たり役員数	10.4
	男性	8.5
	女性	1.9
	女性の比率	18.1%

福岡市のコミュニティ関連施策について

1. これまで

- (1) 福岡市では、「コミュニティの自律経営」に向けて、平成 16 年 4 月から以下のことがらを実施してきました。
 - ① 町世話人制度を廃止し、自治協議会制度を創設
 - ② 補助金を統合し、校区で自主的に取り組む事業にも使える補助金を創設
 - ③ 公民館をコミュニティづくりの核と位置づけ、区役所へ移管
 - ④ 区役所にコミュニティの総合窓口として地域支援部を創設
 - ⑤ 区の地域支援部に校区を担当する校区担当職員を配置
- (2) 現在の自治協議会制度は、平成 16 年度から 4 年間をかけて定着させ、検証していくこととしています。

2. 今後の検証・検討

- (1) 平成 18 年度から現在のコミュニティ関連施策の検証と、今後の施策の検討に取りかかります。
- (2) 検証や検討に当たっては、現在の自治協議会制度を中心として、改善した方がよい点などを自治協議会の皆さんのご意見を踏まえながら行います。

3. スケジュール

- (1) 平成 18 年度
 - ① 自治協議会会長、自治会会長にアンケートを実施します。
 - ② 各区において、自治協議会会長から現在の施策に関するご意見や今後の施策についてのご提案をいただきます。
 - ③ 「福岡市コミュニティ関連施策のあり方検討会」を設置し、平成 20 年度からのコミュニティ関連施策のあり方について検討します。
- (2) 平成 19 年度
 - ① 「福岡市コミュニティ関連施策のあり方検討会」から、平成 20 年度からのコミュニティ関連施策のあり方について、提言をいただきます。
 - ② 上記の提言を受けて、今後の市のコミュニティ関連施策の概要をとりまとめます。
- (3) 平成 20 年度～

検証したコミュニティ関連施策の推進に取り組みます。

福岡市NPO活動支援基金・助成状況

◆NPO活動支援基金への寄附の状況(平成18年7月末現在)

	寄附額	件数
平成16年度	635,000	12
平成17年度	670,016	5
平成18年度	675,000	6
合計	1,980,016	23

◆NPO活動推進補助実施状況(平成18年7月末現在)

	補助実施額	補助事業数
平成16年度	450,000	3
平成17年度	280,000	3
平成18年度前期	690,000	4
合計	1,420,000	10

○平成16年度補助事業

事業名	助成先	助成額
ホームレス支援	ホームレス支援 福岡おにぎりの会	70,000
重度障害者の生活向上と地域市民との交流を図る事業	福岡在宅障害者援護会・シーソーねつと	260,000
講演会開催「福祉発祥の地デンマークに学ぶ福祉制度と実状」	高齢者快適生活づくり研究会	120,000
計		450,000

○平成17年度補助事業

事業名	助成先	助成額
子どもの健全育成を図る活動	青少年サポートセンター ひまわりの会	50,000
九州演劇サミット	福岡パフォーミングアーツプロジェクト	120,000
ホームレス支援	ホームレス支援 福岡おにぎりの会	110,000
計		280,000

○平成18年度補助事業(前期)

事業名	助成先	助成額
高齢者の口から健康支援システム構築のための実態調査	ウェルビーイング	350,000
女性と子どものためのシェルター運営事業	女性エンパワーメントセンター福岡	190,000
自閉症の日中活動の場の創設	自閉症くらしの応援舎TOUCH	100,000
もしもしキモチメールキャッチャー養成講座	チャイルドライン「もしもしキモチ」	50,000
計		690,000

■ 年度別福岡県NPO法人認証件数状況

年度	県認証	(うち、市内 に事務所を置 く)	内閣府認証	(うち、市内 に事務所を置 く)	年度計	(うち、市内 に事務所を置 く)	累計	(うち、市内 に事務所を置 く)
11	48	17	3	1	51	18	51	18
12	54	24	1	0	55	24	106	42
13	81	30	5	1	86	31	192	73
14	133	48	8	5	141	53	333	126
15	153	70	6	2	159	72	492	198
16	176	70	11	9	187	79	679	277
17	191	69	11	8	202	77	881	354
18	26	13	2	1	28	14	909	368

※平成18年度は6月末現在の法人数

平成18年度 福岡市NPO・ボランティア交流センター管理業務等の年間事業計画

1) 市民公益活動に関する情報の収集及び提供事業

事業名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①ホームページの更新	随時												
②メールマガジンの発行(毎月1日、20日発行)		● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●
③情報誌の発行(奇数月30日発行)			●		●		●		●		●		●
④図書、資料の収集、整理、提供	随時												
⑤利用登録団体のデータベースの作成と公開	随時												

2) 市民公益活動に関する講座及び研修の企画実施事業

事業名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①ボランティア入門講座(3回)				●			●					●	
②NPO法人化検討講座(4回)						●		●		●		●	
③NPO法人設立セミナー(10回)				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
④ファシリテーター入門講座(2回)									●	●			
⑤NPO会計・税務セミナー(1回)					●								
⑥広報セミナー(1回)											●		
⑦シニア向け地域講座(1回～)												●	

3) 市民公益活動に関する相談事業

事業名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①随時職員による相談対応	随時												
②NPO会計・税務相談(12回)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
③CB相談受付	随時												

4) 災害時におけるボランティア活動支援事業

事業名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①災害時におけるボランティア情報の提供	適時												
②災害ボランティアコーディネータ養成講座(1回～)					●								

5) 市民公益活動を推進する交流連携事業

事業名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①あすみん消しゴム隊の事業協力(随時)	随時												
②分野別交流会(4回)				●			●			●			●
④地域へお出かけNPO講座(2回)				●	●								
⑤大学生向けNPO講座(1回)					●								
⑥企業の社会貢献セミナー(1回)							●						

6) 調査研究事業

事業名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①地域(公民館活動)とNPO		●			●		●			●		●	

平成17年度 市民と行政の主な共働の取り組み状況

	所管局	事業名（施策、制度等名）	事業内容	共働の主体
1	総務企画局	らくらくパソコン教室	市民が情報活用能力の向上を目的として、福岡市がパソコン講習会場を整備・提供し、パソコンメーカーがパソコンなどの機材を提供し、NPOが役務を提供するという形でパソコン教室を実施	NPO
2	総務企画局	ふくおか水の感謝祭	福岡都市圏広域行政推進協議会の予算より助成。水の感謝祭は、平成9年より、水への感謝と川の流域に住む人々の交流を目的に開催されている	NPO
3	市民局	NPO・ボランティア交流センター管理運営	NPO・ボランティアに関する情報を提供（HP、メルマガ、情報誌等） 会議室、打ち合わせ場所、印刷機、パソコン等を提供やNPO・ボランティアに関する相談	市民 地域団体 NPO
4	市民局	ハートフルフェスタ福岡2005	「人権という普遍的文化」を築くための催し（みんなで集おう 心と心のふれあい広場）、資料などの情報提供、補助金の交付、実施場所及び準備に必要な打ち合わせや作業のための場所提供を行うもの	NPO
5	市民局	災害ボランティア	災害ボランティア組織との共働による防災活動	NPO
6	こども未来局	放課後の遊び場づくり事業	学校施設を活用し、放課後の日常的な子どもの遊びや活動の場づくりを推進 地元の関係団体からなる運営委員会を設置し、コーディネーター（市嘱託）、見守りサポーター（ボランティア）を配置	市民 地域団体 NPO 学校
7	こども未来局	アジア太平洋子ども会議・イン福岡	アジア太平洋40数か国・地域から子どもたちを毎年7月に招聘し、ホームステイなどを行うとともに、アジア太平洋5の国や地域に子どもたちを派遣している。	NPO
8	こども未来局	昼間校庭開放事業	少年に対する安全な遊び場を確保し、健全な遊びと団体活動の促進を図るため、本市立小学校の校庭等を学校教育に支障のない範囲で定期的に開放し幼児・児童・生徒に利用提供する。	地域団体 学校
9	こども未来局	若久小学校放課後の遊び場づくり事業委託	平日の放課後に学校施設に支障のない範囲で子どもの使い慣れた学校施設を活用し、自由に安全に遊びや活動ができる場を児童に提供することを目的とし、委託契約を締結している。	市民 地域団体 NPO 学校
10	こども未来局	障がい児地域交流等支援事業	地域において、障がい児と同じ地域に住む子ども達との交流を促進するため、地域で独自に工夫して、交流のための催し等を実施している団体に、その活動の経費の一部を助成するもの	NPO

	所管局	事業名（施策、制度等名）	事業内容	共働の主体
11	こども未来局	留守家庭子ども会育成事業	「留守家庭子ども会」を設置し、家庭・学校・地域が一体となった運営委員会の自主的な活動に対し助成するもの	地域団体
12	こども未来局	子どもプラザ	乳幼児親子がいつでも気軽に集まり利用できる遊び場を常設し、情報交換・相談ができるとともに、地域の子育て交流サロンなどの子育て活動を支援する区の拠点として子どもプラザを設置し、地域で孤立しがちな乳幼児の親の子育ての不安の軽減を図り、子育てしやすい環境づくりを進める。	市民 地域団体 NPO
13	こども未来局	市民参加型里親普及事業	NPO団体等の地域浸透力を生かし、里親制度の普及啓発を推進することにより、里親の開拓を図る。	NPO
14	保健福祉局	障害児地域支援モデル事業	地域で障害児を見守っている活動を行っている任意の団体に対し補助を行い、今後の施策展開のモデルとする。	NPO
15	保健福祉局	福岡市エイズ電話相談補助金	休日・夜間に、エイズ電話相談・外国語（英語）相談を実施しているエイズワーカーズ福岡に対し、補助金を交付（平日9～17時は、各区保健福祉センターで実施）	NPO
16	保健福祉局	福岡市ホームレス自立支援事業	NPOとの協働により自立支援等のアパートを活用しホームレスの自立を支援する。	NPO
17	環境局	地域集団回収等報奨制度（地域リサイクルステーション事業による取り組みを含む）	地域の子ども会、自治会等による資源物の回収、紙リサイクルボックスの管理 市は紙リサイクルボックスの設置及び回収量等に 応じた報奨金の支給	市民 地域団体 NPO
18	環境局	生ごみ堆肥化物農地還元モデル事業	地域リサイクルステーション9箇所回収した生ごみ堆肥化物を活用し、耕作や生ごみ堆肥化物の生成などについて講座を展開。	市民 NPO
19	環境局	環境フェスティバルふくおか2005	毎年6月に環境フェア、10月にごみ減量フェアとして分けて実施していたNPOを中心とした環境保全に向けての参加体験型イベントを、環境フェスティバルとして実施	地域団体 NPO 学校 事業者
20	環境局	幼児環境教育学習プログラムの推進	平成16年度に市内環境NPO等と共働で作成した幼児向け環境教育プログラムの周知・理解を図る	NPO
21	環境局	環境NPO等活動拠点支援（エコルーム）	環境局が所管している清掃工場等の施設を環境NPO等に活動拠点スペースとして提供することにより、地域に根ざした環境保全活動の活性化を図る。	NPO
22	経済振興局	大学発ベンチャービジネスコンテスト	九州一円から応募を募り、大学発のベンチャービジネスコンテストを開催	学校

	所管局	事業名（施策、制度等名）	事業内容	共働の主体
23	経済振興局	商店街チャレンジ活動支援事業	商店街等が地域特性を活かした事業もしくはビジネスモデルとなるような地域経済の振興に大きく寄与すると期待される事業について自らが調査・研究及び実験的事業を実施し「商店街チャレンジ活動プラン」を策定する活動に対して助成を行う。	事業者
24	経済振興局	商店街まちづくり活動支援事業	商店街は「暮らしの広場」としてコミュニティを支える機能も持っていることから、単なる経済活動ではなく、地域の課題などの解決に自力で取り組むなどまちづくり活動に関わっている商店街を支援する補助金	事業者
25	経済振興局	民間施設活用型インキュベート事業	民間賃貸施設を応募し、一定要件を満たすものを「指定施設」として指定し、当該施設への入居を希望する創業者のうち、優れた事業計画を持つものに対し賃料の一部を助成。	市民 事業者
26	都市整備局	香椎地区まちづくり推進事業	福岡都市計画事業香椎駅周辺土地区画整理事業の施行に伴い、地区内の商店街の近代化に向けてのまちづくり推進の調査・検討する団体への補助金	地域団体 NPO 事業者
27	都市整備局	植物園ガイドボランティア	植物園来園者に対するガイドボランティアボランティアの定例会等の場所として会議室を提供。ガイド資料作成のため、コピー機を提供。	市民 NPO
28	都市整備局	福岡市まちづくり副読本「まちじまん」の作成業務委託	小学校向けの副読本を行政、学校関係者、NPOの共働で作成。その活用促進	NPO
29	都市整備局	景観づくり地域団体助成制度	地域住民自身の自主的な景観に配慮したまちづくり活動の促進を図るため景観づくり地域団体の活動に対する経費の助成を行う。	地域団体
30	都市整備局	フラワーハートシティ事業	街路花壇設置、フラワーボックス設置	地域団体 NPO
31	都市整備局	地域の森づくり事業	市民等の団体が身近な空き地等で自主的に取り組む植樹や樹林地管理を技術的、経済的に支援	地域団体 NPO
32	都市整備局 都市緑化ふくおかフェア担当	市民自主企画イベント（花緑体験催事）	市民団体やNPO団体に対し、事務局規定の枠組みとは別に、花、緑、環境のテーマのなかで各団体の発表の場や活動の場を与え、企画・実施運営を各団体が独自に行う。	NPO
33	港湾局	和白干潟活性化事業	①耕うん機やスコップによる干潟の耕作と効果検証のための干潟生物・底質調査 ②NPO主催の勉強会への参加と調査データ等の提供	市民 NPO
34	港湾局	「市民体験スクール 菜の花を咲かせよう！プロジェクト」	アイランドシティの約3畝で菜の花を育て、食材として利用するとともに、菜種から菜種油をしぼり、使用済みの油を自動車の燃料等に精製処理する。	市民 地域団体 NPO 学校
35	東区	区の魅力づくり事業（多々良川ゆめプラン）	多々良川の歴史・魅力を再発見し、新たな魅力づくりを進めるため、市民、NPO・ボランティア、東区及び周辺町の地域団体などとの共働により、勉強会や流域交流事業を企画し、実施する。	市民 地域団体 NPO 学校

	所管局	事業名（施策、制度等名）	事業内容	共働の主体
36	東区	区の魅力づくり事業（東区大学・地域まちづくり事業）	地域の課題解決や魅力向上などについて学生から事業を募集し、提案した学生自らが地域住民と共働で実施する。実施が決定した取り組みについては、活動の支援を行う。また、大学が行う公開講座等の情報を積極的に広報する。	市民 地域団体 学校
37	東区	緑化フェアウェルカムガーデン事業	香椎セピア通り、千早駅西口広場、香椎浜にて、近隣小学校の児童や日頃から花作りを行っている地域団体等と共働により、花壇を制作する。	地域団体 NPO 学校 事業者
38	東区	緑化フェア七区交流ガーデン事業	都市緑化ふくおかフェア七区交流ガーデンにおける花壇のレイアウト・花苗等の選定、植え付け作業を市民と共働により行う。	地域団体 NPO 事業者
39	中央区	区の魅力づくり事業（中央区花いっぱい運動）	思いやりの心を育むために、市民、企業、区が共働で行う花づくり運動	市民 地域団体 学校 事業者
40	中央区	中央区子育てみんなの広場	子育て支援事業の一環として、中央区に居住する乳幼児とその保護者等を対象に、子育て支援ボランティアグループ等を含むボランティア手作りの親子ふれあい交流イベントを開催するもの。	NPO
41	南区	区の魅力づくり事業	区の魅力をPRする企画事業 温泉（勉強会の開催、コンサルタントの派遣）、大学（7大学関係者との検討会）	市民 学校 事業者
42	南区	南区まちづくり活動協議会事業	地域でのまちづくり活動を支援する事業（まちづくり活動団体アドバイス、手づくりモデル事業アドバイス、まちづくり副読本作成、まちづくり人養成塾開催、まちづくり情報誌発行、まちづくりフォーラム開催、ホームページの運営など）	市民 地域団体
43	南区	大橋駅周辺安全・安心まちづくり事業	大橋駅周辺の治安維持・防犯活動や環境美化活動を実践している各種団体・機関に負担金を交付	地域団体 事業者
44	南区	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	・高齢者料理講座を大学と共働で実施 ・高齢者絵本の読み聞かせ講座により結成されたボランティアグループへの活動用資料の提供	NPO 学校
45	城南区	大学・学生・地域・行政の連携によるまちづくり	地下鉄3号線七隈駅周辺のまちづくりの中で地域とふれあう学生街の形成を図り、個性をブランド性を高める「七隈ブランドの創出」。鳥飼・梅林線の一部を「城南区シンボルロード」と位置づけ、活力に満ちた個性的なまちおこしを進めていく。	市民 地域団体 NPO 学校 事業者
46	城南区（保健福祉局・都市整備局）	冒険遊び場リーディングプロジェクト	西南杜の湖畔公園予定地で展開されている「冒険遊び場」事業への支援を通して、創造力豊かなたくましい子どもを育成する仕組みを検討する。	市民 NPO
47	城南区	ハチクマ観察会	城南区の油山にある片江展望台において、日本野鳥の会福岡支部との共催によりハチクマ観察会を実施する。	NPO
48	城南区	福岡大学リサイクルマーケット	福岡大学の卒業生から不要となった家具、電気製品等の提供を受け、新入生に無料で譲渡する。ボランティア団体の提案により共働により実施	市民 学校

	所管局	事業名（施策、制度等名）	事業内容	共働の主体
49	城南区	健康日本21福岡市計画推進・校区健康づくりアクション事業	校区単位自らの健康づくり活動への支援	市民 地域団体
50	城南区	認知症でもだいじょうぶセミナー（寝たきり予防事業）	今年度は企画の段階からセミナーのアドバイザーとして「呆け老人を抱える家族の会」メンバーに参加してもらい、認知症に関心のある人、地域で高齢者を支援する立場の人を対象にの4回シリーズで実施。	NPO
51	早良区	室見川ふれあい事業	市民参画による、むろみんフェア・むろみんピックの開催・運営、次年度以降の進め方を検討するワークショップの開催 事業報告書作成 など	市民 地域団体 NPO 学校 事業者
52	早良区	室見川水系一斉清掃	室見川水系の流域住民による、一斉清掃の実施。併せて、自然環境の保全や自然とのふれあいを推進する。	市民 地域団体
53	早良区	早良区「健康日本21福岡市計画」推進事業	区及び各校区に健康づくり実行委員会を設置し、健康目標を設置し、校区のニーズに応じた住民主体の健康づくりに取り組む。	市民 地域団体 学校
54	早良区	地域子育て交流支援事業	全校区に、地域ぐるみの育児を支援する体制づくり（子育て支援ネットワーク会議）、子育てサポーター養成、子育て交流サロンの開設を行う。	市民 地域団体 NPO 学校
55	西区	西区まるごと博物館構想推進事業	区内の様々な地域資源、人的資源を保存・育成・創出する。また、それらに回遊性を持たせ、西区全体を地域の魅力を展示した「博物館」位置づけ、区民が「博物館」を育み、活用するとともに、地域外にもその魅力を発信することで、区の魅力をさらに高めていく。	市民 地域団体 NPO 学校 事業者
56	西区	大学と地域の連携・交流促進事業	校区と大学のつなぎ役になる窓口「学園コミッション」を設置し、連携・交流事業をコーディネートする。	市民 地域団体 NPO 学校 事業者
58	消防局	救急講習の実施	年々増加する救命講習受講希望者に対応するため、応急手当普及員の資格を有する方々によるボランティア組織との共働を図り、市民に対する応急手当の普及啓発を推進するもの。	NPO
59	消防局	婦人自衛消防隊防火クラブ事業	玄界島と小呂島の婦人自衛消防隊防火クラブの運営活動については、本来、市が行うべき防火・防災業務を代替していると認められるため、補助金を交付する	NPO
60	水道局	市民団体水道水源かん養等活動助成金	市民団体が実施する水源林の整備や水源地域住民等の交流活動に対し、経費の一部を助成する。	地域団体 学校

	所管局	事業名（施策、制度等名）	事業内容	共働の主体
61	水道局	水源林ボランティア育成事業	市民ボランティアを募集し、水源林の保全活動を行う人材を養成する。	NPO
62	教育委員会	「学生サポーター」制度活用事業	就業体験やボランティア活動を希望する大学生を、市立学校・園の教育活動に受け入れ、学校教育の活性化を図る。	学校
63	教育委員会	空き教室の有効活用	空き教室を地域活動の場などとして、学校教育以外へ活用（空き教室地域開放事業、留守家庭子ども会育成事業、高齢者の介護予防検討モデル事業、保育所分園）、地域開放事業は、地域による自主的な管理運営のしくみづくりを支援	市民
64	教育委員会	養護学校児童生徒地域交流事業	養護学校児童生徒と地域の小中学校生やその保護者との交流活動。養護学校地域交流事業運営委員会連合会に委託し、養護学校及び自治会などと共働で実施	市民
65	教育委員会	職場体験週間事業	中学生の職業観、勤労観を育むために、1つの学年全員を対象に、連続5日間以上の職場体験を実施する。	市民 地域団体 事業者
66	交通局	駅ボランティア	車椅子・視覚障がい者等の移動支援、手荷物運搬補助、ホームへの案内、のりかえ案内、行き先や地理案内、駅係員への取り次ぎ等	市民 NPO 学校 事業者